ITSの最近の動向と当社の取組

大石將之*
鷲野翔一**

要　旨

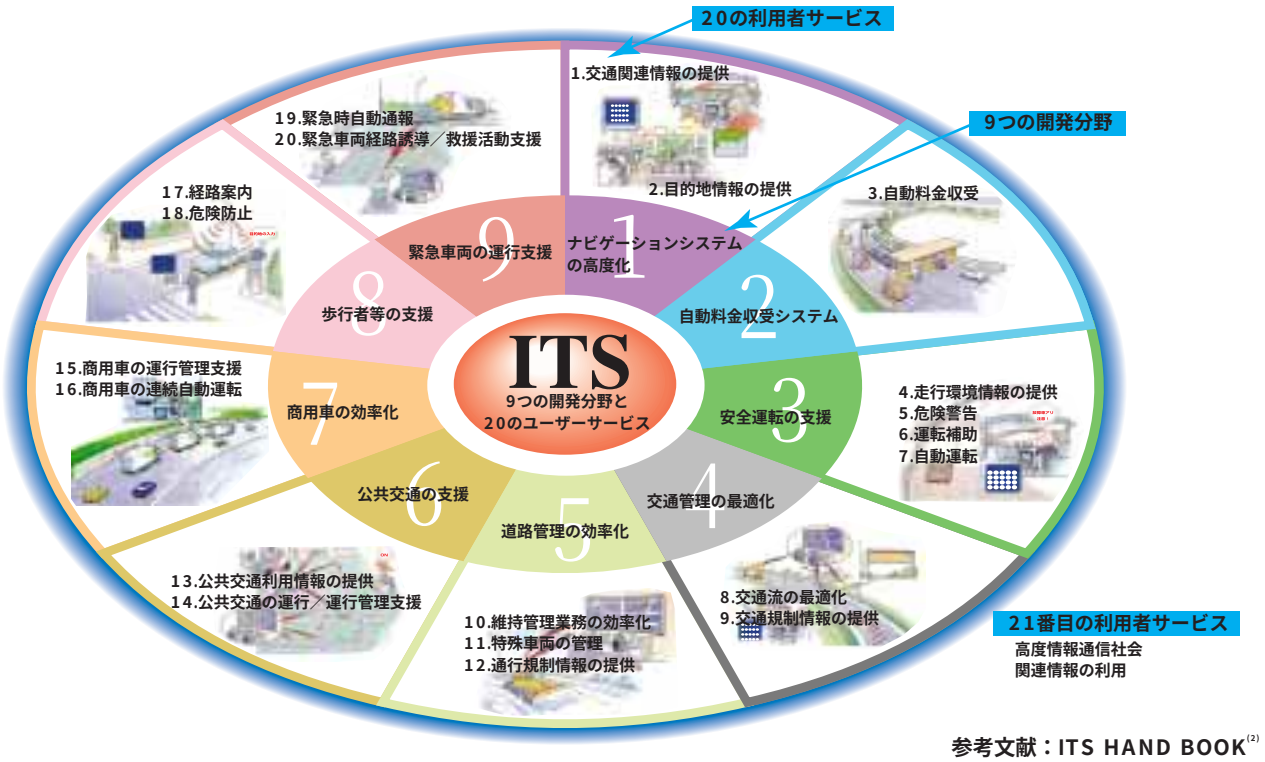
高度道路交通システム（Intelligent Transport Systems：ITS）は，最先端の情報通信技術を用いて“人”と“道路”と“車両”とを一体のシステムとして構築することにより，道路交通問題の根本的解決を図るとともに，安全性・快適性・効率性の飛躍的な向上と環境保全等を図るものである。

ITS構想については，1995年の「高度情報通信社会推進に向けた基本方針」の答申を受け，’96年に交通分野の情報化政策として５省庁による「ITS推進に関する全体構想」が制定され，これによってITSが国家プロジェクトとして位置付けられた[1]。

この構想の中ではITSは九つの開発分野と20の利用者サービスが提示されているが，後で，21番目として利用者サービス「高度情報通信社会関連情報の利用」が追加された。実は，この視点が一番重要である。つまり，ITSはただ単に交通問題の解決手段だけでなく，高度情報化社会又はモバイルマルチメディア社会への推進に向けた先導プロジェクトなのである。

三菱電機では，このITS事業を，当社が推進中のCCVソリューション事業の中核として位置付けるとともに，当社の特長である総合電機メーカーの強みを生かして鋭意展開中である。

本稿では，最近のITS動向を概観した後，当社のITS戦略と取組状況について述べる。



参考文献：ITS HAND BOOK[2]

ITSの開発分野とユーザーサービス

ITSの開発分野とユーザーサービス

ITSの開発分野とその分野ごとの利用者サービス内容を示す。21番目の利用者サービスは，すべてのITS開発分野でこれから起こる高度情報化社会との接点に当たる情報通信サービス分野で，今後大きな市場となることが期待されている。

*ITS推進本部副本部長　**産業システム研究所主管技師長（工博）